

来年度事業計画案を説明

42社の代表出席

正念場の年

資産運用を正面からアピール

証拠金取引の知識啓蒙を

先物協会 広報活動アンケート

裁、会員役職員7名への処分があつたこと、1月末現在で紛争仲介受付件数が124件——などが報告された。

思つております。

事務局の事業計画・収支予算案説明のあと、改正商

責任準備金などについて意見・論議が交された。

取法下の純資産、証拠金、

や機能についての営業色の

ない一般社会への啓蒙④偏った報道がされることのないようマスコミとのコミュニケーションを図る——が各40%台だった。

問3 「平成16年度の広報選択」については(1つだけ選択)①大幅増額は避けるべき②15年度と同程度——が合わせて80%強を占めた。

問4 「自己責任に基づく取引を推進するためには、どのような広報活動が有効とお考えですか?」に対する回答は(複数回答)、①証拠金

取引であること、証拠金以上の損をすることがあること

と、短期的に決着がつく取

引であることなど商品先物

取引に関する正しい知識の

普及・啓蒙を図る——が

80%を超える、②取引の手続

き・流れについての理解促

進を図る——が41%強。

以上の設問のほか、「不

健全経営に関する一連の報

道下での広報活動」や、先

物協会ニュースについても

アンケート調査を行つた。



会員懇談会風景(二家会長の挨拶)

先物協会と日商協は2月26日、東京穀物商品取引所2階大会議室で合同の会員懇談会を催し、商品取引員42社の社長を中心代表が顔をそろえた。両協会の平成15年度の活動状況と来春の改正商取法施行を控えての平成16年度の事業計画案を中心意見交換が行われた。事業計画・収支予算是それぞれ3月の理事会を経て臨時総会で正式決定する。27日には大阪、名古屋で同様の懇談会を開いた。

合同懇談会の前半は日商協の担当で、藤田庸右副会

長が挨拶し、「昨今の商品取引員経営破綻もあって信頼性が一層求められていました。本年4月に設けた監査部を増員して受託等業務に係る規制の監視を厳格にし、過怠金を積み立ててきました運営準備金の一部を取り崩し、コンプライアンスのより実効性を高めるための特別事業を実施します」と述べた。

15年度事業については、

会員延べ9社に対する制

行動する団体が旗印

会員数55社に増加



平成十六年一月九日
軽油上場のテープカット

中部商品取引所の商品取引員で構成する中部商取協会(会長代行・村橋實丸村社長)は取引所とともに成長する。中部商取が1月9日に上場した軽油は快調にスタートした。これも、中部商取協会の全面的協力を得たものだ。そして、軽油上場を機に、会員数も52社から56社へ膨らんだ。今後の活躍が期待される。

同協会は行動する団体として、1994年春の段階で中部商取誕生は1996年10月、名古屋織維取引所、豊橋乾織取引所、名古屋穀物砂糖取引所の中部地区3社だ。中部商取は1996年10月、名古屋穀物砂糖協会の3団体だ。

中部商取誕生当時は、取引所は不調のどん底だった。

中部商取協会は行動する団体として、1994年春の段階で中部商取誕生は1996年10月、名古屋穀物砂糖取引所の中部地区3社だ。中部商取は1996年10月、名古屋穀物砂糖協会の3団体だ。

中部商取誕生当時は、取引所は不調のどん底だった。

中部商取誕生当時は、取引所は不調のどん底だった。それが、2000年1月に石油市場を開設。03年には年間出来高が3、200万枚に近い全国第2の取引所に躍進した。協会には中部地区先物市場の新時代を開いた、という自負がある。

それだけに、市場振興面では中部商取と知恵を出し合い、努力を惜しまない。しかし、中部地区の3取引所が結束しないと明日が開けない。そう決断した3団体合併の旗印を掲げた。そして、3取引所統合に向かっての1995年3月の第1回3取引所理事長会議を実現させた。

中部商取誕生当時は、取引所は不調のどん底だった。

中部商取誕生当時は、取引所は不調のどん底だった